

受講番号 18080 学校名 野市中学校 氏名 井口 朋子

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 2年3組 生徒数 35名  
 科目名 2年 単位数(授業時数) 3時間 使用教科書名 NEW HORIZON English Course2(東京書籍)

クラスの様子・特徴

教科書の音読が学年の最初は声が小さかったが、5月に入り、班読みをしてもペア読みをしても良くできるようになった。しかし、ノートを写したり、単語を覚えたりするような、一人で行う静かな作業になると集中力がなくなり、ざわついてくる。

問題の確定

クラスの52%の生徒が英語が苦手と答えている。分析してみると単語がわかっても文章になると内容が理解できていないようだ。

予備調査

A 授業の観察

2年生になりクラス替えがあり1学期の始めは音読の声が小さかったが徐々に大きくなってきた。苦手意識は強く、英語学習に興味を失いつつある。ノートを写すこと、音読することといった基本的なことが身についていない生徒がいる。

B 生徒による授業評価

アンケート(4月後半)  
 英語が苦手 52%  
 英語の授業で難しいところ 英訳 38% 英作文 32%  
 英語の授業で好きな活動 ゲーム 41%  
 なし 41%

C 学力データ

CRT(4月後半)  
 聞くこと、話すこと、書くことについては、ほぼ全国平均であるが、読むことがやや低い。  
 コミュニケーションへの意欲・感心・態度では、Cの割合が全国より高くなっている。

リサーチ・クエスチョン

英語学習に興味を持たせ、読解力をつけるにはどうすればよいだろうか。

仮説・実践・検証

仮説1

語彙を増やせば、読解力が伸びるのではないか。

実践1

授業で習った英単語のテストを毎授業で行った。同じ単語を2回ずつテストすることで定着を図った。英単語ビンゴを導入で行うことで苦手な生徒も取り組めた。  
 毎日ノート1ページに単語や文章を書くことを家庭学習とし、点検した。

検証1

毎授業で英単語テストを行うことで、英単語を覚えようという意識が強まった。80%の生徒が「英単語テストが大切」「どちらかと言えば大切」と答えている。  
 英単語ビンゴを行うことにより、発音と意味が頭に入りやすくなってきた。  
 家庭学習用ノートの提出率が上がり、60%の生徒が目標ページ(2学期80ページ以上)に達することができた。家庭学習ノートに文章を書かせることにより英語の文の構成を理解させた。

仮説2

音読を繰り返すことにより英文が頭に入りやすくなるのではないか。

実践2

本文を読む前に、英語で聞き取りポイントを与えた。  
 内容理解してから、英文の音読を繰り返し行い、音読テストを実施した。  
 毎時間文型ドリルを使い、ペアで英語 日本語、日本語 英語の切り替えがスムーズにできるようにさせた。

検証2

聞き取りポイントを与えることで、教科書の内容に興味を持たせた。  
 音読した後でTFテストを行ったが、真剣に取り組む姿がみられた。また音読テストに向けて、感情を込めて読む練習を何度もすることで、自然と文章を覚えていた。  
 特に英語 日本語の切り替えができるようになってきた。88%の生徒が「文型ドリルは大切」「どちらかと言えば大切」と答えている。

仮説3

文法の用法を理解することにより、文章の内容がわかりやすくなるのではないか。

実践3

基本文のディクテイションを行い、文章力をつけるようにした。  
 文型を意識させ、意味のかたまりで英文を理解できるように文をチャンクで区切る練習を行った。  
 週に1回長文読解に挑戦させた。ALTが作成した文章を読んだり、「Let's Read2」を道徳の授業と関連付けて内容に興味を持たせてから読み取りをするように工夫をした。

検証3

基本文のディクテイションを行うことで文章を書くことへの抵抗が少なくなってきた。  
 英文を読むときには動詞を常に意識させチャンクで意味をとっていきながら読ませることにより、英文の読み方が少しずつわかるようになってきている。  
 単語力はあるが、「文章になると見るだけで嫌になる」という声は最初は聞こえたが、定期的に文章を読ませることによりコツがわかってきたという生徒が44%いた。

研究の成果

英語の文章を読むことへの抵抗感が減り、じっくり読むとわかるという声が聞こえてきた。取り組む姿勢も以前は全く読もうとしない生徒が数人いたが、読んで問題を1問でも解こうとする姿勢が見られた。84%の生徒が「まとまりのある英文を読む取り組みが役に立った。または「どちらかと言えば役に立った」と答えている。英検4級レベルの長文読解の問題を読む時間が、最初は7~8分程度必要だったのに対し、4~6分程度で読めるようになった。クラスの35%の生徒が、「長文が好き」「またはこれからがんばろうと思う」と答えている。

今後の授業改善の課題

まとまりのある英文を読むことに抵抗がなくなってきたが、未習語が出てくると、そこで引っかかってしまい先に読み進めることができないことがあるので、前後の文脈から予測させたり、とばして読むように具体的なアドバイスを与えるべきであった。